

令和 6 年度 宇都宮市都市再生整備計画評価委員会 議事録

- 日時 令和 6 年 1 1 月 2 2 日（金）午前 1 0 時～午後 3 時
- 場所 大谷観光周遊拠点施設（大谷コネクト） 旧大谷公会堂
- 出席者

委員

池田 裕一委員，大森 玲子委員，古賀 誉章委員，高橋 功委員

臨時委員

大久保 裕之委員

幹事

魅力創造部 観光 MICE 推進課 大谷振興室 松本 剛室長

建設部 道路保全課 高橋 康之課長

建設部 道路建設課 鎌田 淳課長（幹事代理：池田 崇係長），

建設部 河川課 宮田 忠則課長，

都市整備部 景観みどり課 小林 裕課長，

都市整備部 公園管理課 荒井 久雄課長

事務局

都市整備部 市街地整備課 上田 英夫課長

管理グループ 半田係長 豊田総括 古俣主任 大谷主任主事

○ 議事録

1 開会

2 挨拶

3 宇都宮市都市再生整備計画評価委員会の開催について

議事録の署名者に古賀委員と高橋委員を選出

(1) 会議の成立

会議成立の要件である，委員総数の過半数が出席していることを事務局から報告

(2) 会議の公開

会議の公開及び傍聴者はいない旨を事務局から報告

(3) 都市再生整備計画〔大谷地区〕 事業概要説明・現地視察

資料 1－1，資料 1－2 に基づき，事業概要について大谷振興室 松本幹事から説明

その後，事業実施箇所を現地視察

4 議事

都市再生整備計画〔大谷地区〕 事後評価について

大谷振興室 松本幹事	資料2-1, 資料2-2に基づき, 事後評価について説明。
池田委員長	まず, 本日欠席の渡辺委員に事前にご意見をいただいているということなので, 市から発表してほしい。
大谷振興室 松本幹事	【渡辺委員からのご意見とそれに対する回答】 ○【ご意見】総括的な意見としては, それぞれの分野で細やかに事業が行われており, 確実に計画が推進されている。ただし, 来訪者がどのようなルートで1日周遊すると, 具体的にどういった体験ができるか, 各観光スポットを繋ぐ交通手段は何かといった, 周遊の全体像がなかなかつかめない印象である。 大谷地区は岩盤が非常に迫力があり, 散策するだけでも十分な魅力があるため, 立ち寄れるスポットを作って, 町全体を楽しめるプログラムができると, もっと滞在時間が延びるのではないかと考えている。 【回答】市としても, 歩いて楽しめるウォークアブルなまちづくりを推進していきたいと考えている。周遊をするための案内板がまだ少ないので, 目標となるスポットやそこまでの所要時間を示す案内板を設置するなど, 引き続き来年度以降も取り組んでいきたい。 ○【ご意見】現在, 大谷には宿泊施設はないが, 将来的に宿泊機能を検討する際には, 夜をわざわざ大谷で過ごす目的があるといい。 【回答】以前営業していた宿泊施設のリノベーションを民間事業者が試みている。宿泊できる環境が整って, 多くの宿泊客が来訪できるようになったら, 各店舗の閉店時間を延ばしたり, イルミネーションを実施したり, 散策ができるような仕掛けが必要ではないかと考えている。 ○【ご意見】大谷地区には日本遺産の構成要素がたくさんあるが, 対象について, 日本遺産の構成要素である旨の説明文を設置するなど, もう少しアピールした方がよい。 【回答】看板はすでに設置してあるが, 同じ看板の見えやすい位置に関連した構成要素がどこにあるかなどの案内は掲載していない。周遊しやすい環境づくりの一環として, 所管課と連携して検討していきたい。
池田委員長	それでは本日出席の皆様のご質問ご意見等あったらお願いしたい。

古賀委員	先ほど、都市再生整備計画第２期の作成を進めていくという話があったが、今回の評価の位置づけというのは、大谷地区の都市再生整備計画の中間評価ではなく、第１期の最終という位置づけか。
大谷振興室 松本幹事	その通り。第１期ということで区切りは設けているが、第１期計画の事業実施後、継続すべき事業もあるので、第２期の新規・継続事業として、都市再生整備計画の補助を活用しながら、大谷のまちづくりに取り組む計画を策定しているところである。
古賀委員	この状況だと、第１期の最後という割には色々と終わっていないように感じたので、評価するにしてもある程度、形になってからがよいのではと思う。
大森委員	計画に沿って事業を進められていることがよくわかった。 関連性がわからないので質問する。資料２－２の１３ページで、河川改修着手による効果として、夏秋いちご栽培の産地化拡大とある。河川改修事業といちごの産地化拡大に、どのようなつながりがあるのか。 また、河川が氾濫して農地に溢水被害があったとのことだが、いちごを栽培している農地では溢水被害があったのか教えてほしい。
河川課 宮田幹事	これまで鎧川は度々氾濫して農地の溢水被害が発生し、農家の方に不安を与えている状況である。今回、都市再生整備計画の中で鎧川を整備することにより、大谷地区全体として溢水被害の不安があったところを和らげることができ、地区の就農全般に関する安心感を高めることにつながるとして記載した。 溢水被害が発生している箇所については、鎧川周辺の農地であり、いちごの栽培箇所も一部含まれる。
大森委員	資料２－２の１３ページの書き方をもう少し工夫しないと関連性が見えないので、河川工事が行われることにより夏秋いちごの産地化拡大と結び付けて、関連性を記載するとよい。
池田委員長	夏秋いちごの栽培というだけでなく、全体として地域の観光資源をより一層活性化するという書き方になっているが、河川改修が唐突にでてくるので、地域の農業全般に関して安心して就農できる環境や農業事業の新規参入・拡大を呼び込むことができる環境作りにつながっていくような書き方に修正したほうがよい。

大谷振興室 松本幹事	該当部分は、効果として、安定して営農活動ができるといった趣旨を盛り込むなど、よりわかりやすい記載に変更する。
高橋委員	二点お聞きしたい。 一点目は、指標 2「観光産業の立地数」で、目標値が 10 事業所のところ、14 事業所が立地したということで大変素晴らしいと思うが、こちらに出店するきっかけや理由は聞いているか。
大谷振興室 松本幹事	大谷地区の将来の可能性を感じて出店してくださったという印象がある。大谷は地域ぐるみで振興に取り組んできたということがあり、そういった地域のポテンシャルと、市が本気で地域振興を行っているということを感じ取ったことで出店されたという意見があった。
高橋委員	その意見は計画の第 2 期にも生きてくるだろう。また、観光施設の開発許可基準の緩和など、様々な取組が効いているということがわかる意見であるので、うまく生かしてもらいたい。 二点目は、指標 3「公共交通（バス）の利用者数」で、エリア内の 8ヶ所のバス停での乗降者数を捉えているとのことだが、大型バスなどの観光バスで来た場合は、指標の人数に入らないのか。
大谷振興室 松本幹事	観光バスについては、観光施設の受入人数としてカウントしているが、この計画では、公共交通の利用促進の観点から路線バスの利用者数を指標にしているので、含めていない。 観光バスでの来訪者数は、指標 1「観光客の年間入込客数」に含まれるので、そちらで把握している状況である。
高橋委員	公共交通機関での来訪者という意味では、指標 3 の達成度は未達だが、自家用車ではない交通手段での来訪者として、観光バスでの来訪者も含めると、事業を進めた結果、大谷地区の観光に関する魅力が高まったことによって、この指標 3 で記載された以上の来訪者がいることがわかる。例えば、評価の中にそういった所見を入れておくと、指標のみでは表現しきれない、実態に見合った効果を的確に表せると思うので、検討願いたい。
大森委員	整備を進めていく上で、地域住民の声をいかに吸い上げていくかということも重要になるが、整備実施によって、例えば、非常に地域振興に貢献したとか、あるいは住民の生活に支障が出たとか、プラスとマイナスの意見、どちらが多いのか。

大谷振興室 松本幹事	プラスの意見としては、大谷はゴールデンウィークやお盆などは非常ににぎわっていて、活気があふれているという前向きなご意見をいただいている。また、現地視察で見ていただいた、グリーンスローモビリティは楽しく、手軽に周遊できるので、来訪者に喜ばれるのではないかとご意見もいただいている。さらに、市内他地域の市民を対象として、自治会連合会と連携し、市内の自治会加入者が所持している「宮PASS」を提示すれば、グリーンスローモビリティを利用できるような特典を用意した。広く大谷の取り組みを知っていただきたいと考えている。こちらについても良い取組だという意見をいただいている。 マイナスのご意見としては、ハード整備が途中であるため、生活道路の交通混雑時における渋滞対策について、いろいろと厳しい声がある。それに対しては、ゴールデンウィークやお盆の時期には、混雑地点に交通誘導員を配置したうえで、適切な交通誘導を行い、交通渋滞が生じないように、最善の努力を行っている。
池田委員長	交通渋滞を生じさせないという意味でも、公共交通をうまく利用していただく必要があるため、指標3で「公共交通（バス）の利用者数」を設定したのだと思う。交通渋滞を生じさせないための取組について、今後どのような工夫をしていくのか？
大谷振興室 松本幹事	あくまでも個人的な意見であるが、混雑時には大谷地域のセンターコアから少し外れた場所に臨時駐車場を設置し、そこから無料の周遊バスに乗り込んで地区内に来てもらい、観光するといった「パークアンドバスライド」により、交通混雑が生じないように取り組みを引き続き行う。また、大型のイベントが開催される時に慢性的な渋滞になった場合には、民間事業者の駐車場をうまく有効活用させていただき、目的地から少々歩くとしても、歩いて楽しめるようなまち作りの仕掛けを行い、極力域内での渋滞が現れないような対策を実施していきたい。
池田委員長	まさに地域全体で取り組んでいくことを狙って進めていくということ。
古賀委員	宇都宮市唯一の観光地区ということで、市として本気で取り組んでいる姿勢がよくわかったので、全体としては良いと思う。 しかし、指標として挙げられている三つはすべて「観光」に関わるものである。先程の鎧川改修もだが、農業の拡大に関しては、この指標では語れないのではないかと。元々、計画計上時の指標の掲げ方がこれで良かったのか。事後評価シートの様式2-1に「(3)その他の数値

	指標」の欄があるが、例えば夏秋いちごの出荷量の増減を記載することで、確実に夏秋いちごの生産拡大につながっていると、指標として示せるのではないか。「その他の数値指標」をうまく使うべきだと思う。 もう一つは先ほどの公共交通の話だが、バスの利用者数は増えているが、今日の施策についての説明の中では、公共交通での来訪者の割合を増やすような、具体的な仕掛けがあまりない気がする。逆に大谷地区内での道がよくなったり、駐車場が拡大されることによって、自家用車でアクセスしやすくなるので、公共交通の利用促進と相反するところがあるように思う。域内での周遊という点では、グリーンスローモビリティは役に立つと思う。駐車場を拡大し、自家用車で来訪者が駐車後に徒歩やグリーンスローモビリティで周遊する形になれば、域内での周遊に関してはそれで充足するだろう。しかし、公共交通の利用者数の増加と少々違ってくるので、目標・指標と施策が関連付けられるよう、「その他の数値指標」等を使い、話の筋を通すとよいと思う。
大谷振興室 松本幹事	あくまでも指標は観光に関する３つしかないもので、それ以外の様々な波及効果を的確に示せるような参考指標の掲載を検討させていただく。 公共交通の利用については、大谷地域はやはり圧倒的に車で来られる方が多いが、JR 宇都宮駅からバスを利用して来られる方も一定割合でいる。そういった方々のため、バス運行会社の関東自動車において、「大谷一日乗車券」という、バスの往復乗車券と主要な大谷地域の観光施設の割引券をセットした、お得な割引パスポートを販売している。販売前と比べると、公共交通のバスで来られる方がゆるやかに上がっている。そのようなことを含めて、参考値としてうまく示せればと思う。
大久保委員	大谷商工観光協力会のメンバーや地域住民から言われたことだが、市道６３２・６３５号線のラウンドアバウトの中心部には、例えばモニュメントみたいなものを建設する計画があるか。
道路建設課 池田幹事代理	ラウンドアバウトの中心部には植栽として、年間を通して楽しめる草花を植えることを考えている。
大久保委員	モニュメント等が建つと見通しが悪くなることが考えられるので、安全上、あまり好ましくないと思っていた。ただ芝生だけだと味気ないなとも思っていたので、良いと思う。 あと一つ、こちらも皆さんからよく言われ、県にも要望している

	が、大谷地域は、メインの道路である大谷街道は、県道１８８号線が途中から市道６３２・６３５号線になるとか、その市道の橋梁が県管轄の姿川にかかることになるとか、管轄がとても入り組んだ地域である。道路や河川の整備その他諸々、どうしても県との関わりが大切になると思うが、本当に大谷の観光を良くしようと考えているのであれば、県も協力的にやってくれると思うので、うまく県と市が連携し、引き続き、スピード感を持った道路・河川整備等をお願いしたい。なぜなら、そのような整備がなされれば出店したいという方がかなりいる。ただ、河川の幅がどれくらい広がるとか、路面の高さがどうなるとかの整備計画の内容が不透明なので、どのような店が出店に適しているかなどアドバイスできず、出店希望の方たちには少し待ってもらっている。その代わりとして、出店に際しては、大谷のまちづくりに協力してくれるようお願いしているので、今後とも引き続きお願いしたい。
池田委員長	先ほどの古賀委員から出た、夏秋いちごへの就農者数の増加など、「(3)その他の数値指標」へ入れることは可能か。
大谷振興室 松本幹事	夏秋いちごの栽培に新規に着手した事業者数は数値として把握しているので、「(3)その他の数値指標」として記載していく。
池田委員長	ひとつおとり、委員の皆様の意見・質問が出たと思うが、いかがか。最後に、今回いくつかご意見をいただいたことを踏まえ、資料を修正することになると思うが、修正にあたっては、時間の関係や手続きもあるので、僭越だが、委員長に一任していただくことでよろしいか。
委員一同	異議なし

5 閉会

ご審議いただいた事務評価に係る今後の予定として、本日皆様からいただいたご意見等を反映して修正を行い、委員長にご確認いただいたのち、国へ提出を予定していること、本日の議事録についても、速やかに作成し、委員の皆様にご確認いただきたいと考えていることを事務局から報告。